

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和2年 7月10日発行 ー 第 10 号 ー



～ 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制～ 【実践例紹介】



単元名「6.わくわくミシン」

楽しく縫えた「ランチョンマット」



各学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらも少しずつ教育活動を広げています。今回は、滝川市立東小学校の家庭科支援についてご紹介致します。



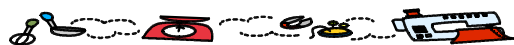
滝川市立東小学校

子どもたちの技能に応じたきめ細やかなご支援をいただきました。お陰様で、子どもたちはそれぞれの課題を意識しながら主体的に取り組むことができました。本当にありがとうございました。



堤雅宏教頭・高羅正次校長

実際の作業になると、とまどうことばかりです。



「待ち針の打ち方、大丈夫かな。」「玉結びは、これでいいのかな。」「しつけ縫いは、玉結びするのかな。」「ミシン縫いは、ここから縫い始めていいのかな。」「返し縫いは、うまくできるかな。」など、はじめての

ことに対しては、これでよいのかを確認しながら進んでいきたいため、すぐ近くに先生がいたので安心して作業を進められたのではないかと思います。

6月25日(木)は、ユーモアたっぷりで楽しい授業をされる石山武志先生が担任の5年2組の学級、6月26日(金)は、テキパキと爽やかに授業をされる戸田衣美先生が担任の5年1組の学級が、学校支援ボランティアの谷川友美さんと林純子さんにご支援をいただきながら、家庭科の裁縫学習に取り組みました。



5年1組戸田衣美先生



5年2組石山武志先生

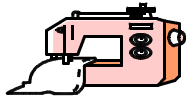
各クラス共に「ランチョンマット」作成の3. 4時間目で、「しつけ縫いの後、ミシン縫いをする」という内容でした。



谷川友美さん



林 純子さん



5年生の家庭科授業の様子



堀田主幹教諭



最後は、姿勢もよく、とても上手に縫えました。



谷川友美さん



林 純子さん



畑山 学びサポーター



成田 特別支援学級支援員



高羅校長先生



慎重に縫っています



福井 学びサポーター



上手に縫っています



糸通しをしています すいすい縫えました



学校支援ボランティアの皆様、お忙しい中ありがとうございます。また、よろしく願い致します。毎日、ご支援していただいている先生方から、楽しいと言っていただけるのは素晴らしいですね。



上手に待ち針打てました



友達に教えてもらいました

授業は、しつけ縫いが終わった子どもからどんどんミシン縫いに入り、時間内にほぼ全員が予定通りの内容を終了することができました。

今日の授業の感想を子どもたちに尋ねると「とても楽しかった！」「ずっと裁縫授業をしたい。」「今日のミシンの点数は、100点だと思う。」「私は90点！」など、どの子どもからも達成感や満足感が伝わってくる内容でした。

子どもたちに寄り添いながらご支援いただいた谷川友美さんや林純子さんからは「子どもたちは、みんな素直で一生懸命取り組んでいました。教える私たちもとても楽しい時間となりました。」という嬉しいお言葉をいただきました。ありがとうございます。

また、担任の戸田先生や石山先生からは「ご支援いただいたお陰で、だれもケガがなく無事に終了できました。ありがとうございました。」と感謝のお言葉がありました。

子どもたちが先生方の話を素直に聞いて取り組んだり、友達同士で助け合ったり、支え合ったりと互いに思いやりを持って学習に取り組んだりする姿がとっても素晴らしいと思いました。何より、学びサポーターの畑山先生や福井先生から「子どもたちがとても素直なので、毎日元気をもらいながら楽しく過ごしているんですよ。」「東小中学校に来て、本当によかったです。」と話されていたのが印象的でした。

また、可愛い子どもたちに温かいご支援を、どうぞよろしくお願い致します。